第32講　開国とその影響

1　開国

①和親条約の締結（1854年～）

A　**日米和親条約〔神奈川条約〕（1854年，13代家定・老中首座阿部正弘）**

あ　調印（横浜村にて）

日本全権⇒林韑（はやしあきら）〔林大学頭（だいがくのかみ）〕　**米国全権⇒ペリー**

い　内容

・日本と合衆国との永世不朽（えいせいふきゅう）の和親

・下田・箱館の開港

・難破船（なんぱせん）乗組員の救助と薪水（しんすい）・食糧の供給

・アメリカに対する片務的最恵国待遇（へんむてきさいけいこくたいぐう）

・領事（りょうじ）駐在の許可⇒**1856年，総領事ハリス**が下田玉泉寺（ぎょくせんじ）に着任。

う　結果

寛永（かんえい）期以来の鎖国体制が崩壊

B　日英和親条約（1854年）

C　**日露和親条約（1854年）**

あ　調印（下田にて）

日本全権⇒川路聖謨（かわじとしあきら）　**露国全権⇒プゥチャーチン**

い　内容（全9条）

・下田・箱館・長崎の開港

・択捉島（えとろふとう）以南を日本領，得撫島（うるっぷとう）以北をロシア領とする。

・樺太（からふと）は両国人雑居の地とする

う　結果

北方（ほっぽう）の国境が画定，幕府は蝦夷地を再直轄（1855年）。

D　日蘭和親条約（1855年）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②安政の改革(1854年～，老中阿部正弘の挙国一致策)

ペリー来航を朝廷に報告，諸大名・幕臣へも諮問。

☆朝廷の権威が高まり，親藩・外様にも政治発言の機会が発生。

A　**親藩・外様の政治参与(“雄藩連合”の発生)**

徳川斉昭(前水戸藩主)，松平慶永(越前藩主)，島津斉彬(薩摩藩主)，山内豊信〔容堂〕(土佐藩主)，伊達宗城(宇和島藩主)ら

B　有能幕臣の登用

江川太郎左衛門〔坦庵・英竜〕，川路聖謨，井上清直，岩瀬忠震，**勝海舟〔義邦〕**ら

C　**国防の強化**と**洋学の研究**

1853年　江戸湾品川沖に**台場**を築造⇒江川太郎左衛門の建議

大船建造の禁を解く⇒諸藩の洋式軍艦建造を奨励

1855年　**長崎**に**海軍伝習所**を設置⇒勝海舟・榎本武揚らが参加

蛮書和解御用を**洋学所**と改称

1856年　洋学所を**蕃書調所**と改称

江戸に**講武所**を設置⇒旗本・御家人に武術・砲術などを教える。

伊豆国韮山に反射炉を建設⇒韮山代官**江川太郎左衛門**による

1858年　江戸に**種痘所**の設置を許可⇒**伊東玄朴**ら

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③通商条約の締結（1858年～）

A　経過

1856年　**アメリカ総領事ハリスが下田に着任**，阿部正弘にかわる**老中首座堀田正睦**と交渉開始。

☆**アロー戦争〔第二次アヘン戦争〕の結果（○英・仏vs清●）**を背景に，ハリスが幕府を説得。

1858年　堀田正睦，条約勅許を得るため上洛。

☆**孝明天皇**や一橋派の親藩・譜代大名の反対により挫折。

南紀派の**井伊直弼（彦根藩主）**が**大老**に就任，**無勅許のまま独断で条約に調印**〔違勅調印〕。

B　**日米修好通商条約（1858年）**

あ　調印（神奈川沖の米艦にて）

日本全権⇒井上清直，岩瀬忠震　**米国全権⇒ハリス**

い　内容（1872年以後の改正を許可）

・**日本大君〔将軍〕と合衆国の親睦を約束**

・下田・箱館の他に**神奈川（のち横浜に変更）・長崎・兵庫（のち神戸に変更）・新潟を開港**，神奈川開港６カ月後に下田は閉鎖。

・江戸・大坂の開市（＝商取引の許可）

・**通商は自由貿易とする**

・**協定関税〔関税自主権の欠如〕**⇒別冊の**貿易章程**で規定，従価税方式。

・**内外貨幣の同種同量による通用**

・開港場に**居留地**を設置，一般外国人の国内旅行を禁止。

・居留地内の**領事裁判権を認める〔治外法権の承認〕**

う　結果

1859年より横浜・長崎・箱館で貿易開始。不平等条約のため，後年明治政府が改正に苦心することとなる。

え　批准

1860年，外国奉行**新見正興**・目付小栗忠順らがポーハタン号で渡米。ブカナン大統領に謁見し，批准書を交換した。

☆**勝海舟**艦長の**咸臨丸**が随行，**日本人の手による太平洋横断に初めて成功。**

☆福沢諭吉らの他に，通訳としてジョン万次郎〔中浜万次郎〕（土佐藩出身）も渡米した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

C　**安政の五カ国条約（1858年）**

同年, オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも同様の不平等条約を締結。

2　開国の影響

①貿易〔居留地貿易〕の開始（1859年～）

A　**貿易港**

横浜・長崎・箱館

☆横浜が全体の80％以上を占める。

B　取引

居留地で外国商人と日本商人〔売込商（うりこみしょう）・引取商（ひきとりしょう）〕が，おもに銀貨を用いて行う。

C　**相手国**

イギリス中心

☆アメリカは南北戦争のため後退。

D　**輸出品**

生糸・茶・蚕卵紙（さんらんし）・海産物などの半製品・食料品。

☆生糸が全体の80％を占め，大幅な輸出超過傾向。

E　**輸入品**

毛織物・綿織物・武器・艦船（かんせん）・綿糸（めんし）などの完成品。

---

②貿易の影響

A　生産構造の変化

あ　**輸出品（生糸・茶）の生産力が向上**

輸出産業である製糸業におけるマニュファクチュア経営は発達したが，その影響で繭価（けんか）が高騰（こうとう）し，**絹織物業は衰退**した。

い　**輸入品（綿織物・綿糸）業界の衰退**

綿織物業・紡績業・綿作（めんさく）は著（いちじる）しく衰退した。

B　流通機構の混乱

あ　自由貿易の開始による**在郷商人の台頭**

生糸の八王子～横浜間など，生産地と開港場を結ぶ新しい流通ルートを開拓。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

い　**五品江戸廻送令（1860年）**

雑穀・水油・蠟・呉服・生糸の５品は，**必ず江戸の問屋商人を経て輸出するように命令。**

☆**物価抑制と貿易統制・問屋商人の保護をはかる。**外国商人の反対もあり，在郷商人はこの廻送令を無視したが，生糸以外の商品に関しては一時的な効果があった。

C　**金貨の流出**

日本と外国の金銀比価の相違（日本＝1：5，外国＝1：15）により10万両以上が流出。かわりに洋銀〔メキシコドル〕が流入。

☆**1860年**，質・量ともに著しく劣る**万延小判**の鋳造により流出は防いだが，**貨幣改鋳により，物価上昇に拍車をかけてしまった。**

D　**激しい物価上昇**

急激な輸出超過による国内物資の不足と万延貨幣改鋳が原因。

☆ペリー来航以来，人足徴発・**安政の大地震**（1854年～55年）・安政のコレラ（1858年）などに苦しんできた下級武士・農民・都市貧民をさらに困窮させた。

E　百姓一揆・打ちこわしの活発化

F　**攘夷運動（＝外国人排斥運動）**の激化

1860年　ヒュースケン（オランダ人）暗殺事件

☆アメリカ総領事ハリスの通訳が，薩摩浪士らに殺害される。

1861年　ロシア軍艦対馬占拠事件

☆ロシア軍艦ポサドニック号が対馬の半植民地化をはかるが挫折。

東禅寺事件

☆水戸浪士が高輪東禅寺のイギリス仮公使館を襲撃。

1862年　生麦事件⇒翌年の薩英戦争へと発展

☆**薩摩藩島津久光の行列を横切ったイギリス人が殺傷される。**

イギリス公使館焼打ち事件

☆長州藩士高杉晋作・久坂玄瑞らが，品川御殿山に建築中のイギリス公使館を焼打ち。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 32 講　確認テスト

1　12 代将軍家慶の 1853 年に来航したペリーを派遣した大統領とは？

①　モンロー　②　フィルモア　③　ブカナン　④　グラント

2　1853 年に解禁された，武家諸法度の条項とは？

①　参勤交代制　②　大船建造の禁

③　キリスト教の禁教　④　末期養子の禁

3　13 代将軍家定の 1854 年，日米和親条約を締結した老中首座とは？

①　阿部正弘　②　堀田正睦　③　井伊直弼　④　安藤信正

4　1854 年の日露和親条約で「両国人雑居の地」とされた島とは？

①　択捉島　②　得撫島　③　国後島　④　樺太

5　1840 年〜 42 年のアヘン戦争に続き，1856 年〜 60 年に発生し清が敗れた戦争とは？

①　太平天国の乱　②　アロー戦争　③　清仏戦争　④　北清事変

6　1854 年〜 55 年，江戸などに発生した大地震とは？

①　嘉永の大地震　②　安政の大地震

③　万延の大地震　④　文久の大地震

7　1856 年，江戸に設立され，旗本･御家人に武術･砲術などを教えた施設とは？

①　関口大砲製作所　②　海軍伝習所　③　講武所　④　蕃書調所

8　1858 年，大老井伊直弼と日米修好通商条約を調印した，アメリカの総領事とは？

①　ハリス　②　ヒュースケン

③　オールコック　④　アーネスト＝サトウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　1859年から居留地貿易が始まった港として，ふさわしくないものを一つ選べ。

①　横浜　　②　長崎　　③　箱館　　④　下田

10　幕末の居留地貿易で最大の相手となった国とは？

①　イギリス　　②　フランス　　③　アメリカ　　④　ロシア

11　幕末の居留地貿易の輸出品としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　生糸　　②　茶　　③　蚕卵紙　　④　毛織物

12　関東の在郷商人へ向けて，雑穀・水油・蠟・呉服・生糸に対する「五品江戸廻送令」が出された年は？

①　1859年　　②　1860年　　③　1862年　　④　1863年

13　日本の1：5に対し，欧米における金銀比価の数値とは？

①　1：3　　②　1：10　　③　1：15　　④　1：20

14　1860年，条約批准のためポーハタン号で渡米した外国奉行とは？

①　新見正興　　②　小栗忠順　　③　勝海舟〔義邦〕　　④　中浜万次郎

15　14に随行し，日本人による初の太平洋横断に成功した船とは？

①　咸臨丸　　②　開陽丸　　③　三笠　　④　武蔵

解答

1	②	2	②	3	①	4	④	5	②
6	②	7	③	8	①	9	④	10	①
11	④	12	②	13	③	14	①	15	①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。